

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.66号> 2016年 8月8日 発行

ごあいさつ

立秋の声を聞いた途端に、なんとなく今夏の衰えを感じ、酷暑の味を乗り越えた安堵感を覚えます。

さて、リオネジャネイロ五輪が開幕し、連日の熱戦に眠れぬ夜を過ごされる方も多いことでしょう。

開催国ブラジルは、151万人におよぶ日系人が居住する友好国。

開会式では、五輪史上初となる「難民選手団」の行進が人権尊重を呼びかけ、世界の難民に大きな希望と勇気を与えました。

一方、イチロー選手が米大リーグ通算3,000本安打の偉業を成し遂げました。イチロー選手曰く目標に向かってやるべきことを着実に実行してきた結果だと、ひたむきな人生を語っています。

大きな期待を背に、様々な試練を乗り越え栄光を掴み取る選手達の、感動のドラマが観る者の胸を打ちますが、こうした人種や国境を超えた共通の思いがスポーツ振興に留まらず、世界平和の構築に繋がることを切望しております。

さて、議員活動2期目の2年目を迎えました。これまでの経験を活かし、新たな目標を持って実直に職務遂行して参ります。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel 0566-36-3870

Fax 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp

HPアドレス <http://y110.jimdo.com>



歳時記

8月 1日(月) 八朔

7日(日) 立秋

11日(木・祝) 山の日

15日(月) お盆・終戦記念日

23日(火) 処暑

31日(水) 二百十日

スポーツ観戦三昧の夏休み。子ども達の心にも数々の感動のシーンと共に、英雄の勇姿の後の熱い涙の意味を教える、絶好の機会となるのではないのでしょうか。東京での開催が待たれます。

伊藤 ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



洒落たモノトーンの格子柄のテーブルに噴き上がるシャワーとはしゃぐ子ども達の歓声は、夏休みの風物詩となっています。さて、ここはどこでしょう？



7/1発行の<No.65>の答えは、半城土北町刈谷知立環境組合(処理場)の焼却棟でした。施設は常に広々と清潔に保たれています。

"庭園"への招待☆ (Chapter5)

17世紀後半、フランスからもたらされた平面幾何学式庭園は、イギリスでもて囃され流行を見せましたが、18世紀に入ると人工的な庭園に対するある種の嫌悪感が生まれ、やがて絵画や文学・哲学などを通して自然を発見しようとする、イギリス式風景庭園の様式誕生に繋がって行きました。

イギリス貴族の間では、画家達の描くローマの風景画の人氣が高く、やがてその憧れは現実風景にも求められるようになりました。

また、それと並行して貴族達はキツネ狩を愉しむようになり、むき出しの草原や雑木林に触れて自然に対する新しい見方を発見します。

それと時期を同じくして、フランスやドイツなどでは哲学者達が新ロマン主義を提唱し、人為的なものを排除する傾向にあったため、自然回帰を目指したイギリス庭園は、次第に他国でも受け入れられるようになりました。

こうした庭園形式が形作られる歴史の中で、一つの終止符となったイギリス庭園は、自然風景を求める思想を基とする日本庭園にも通ずるもので、多くの公園や植物園などにも取り入れられ、やがて19世紀コテージガーデンという流れへの認識も含めて、現代日本の家庭のガーデニングブームに影響を与えて行きます。

8月の行事予定

8月 6日(土) 三河西地域行議会議員懇談会

10日(水) 臨時会

13日(土)・14日(日) 元刈谷地区盆踊り大会

23日(水) 9月議会 会派説明会

27日(土) トヨタ車体労組グリーンセミナー

28日(日) ユタカ議員協議会 研修会

"まじめに
コツコツ、即行動"
頑張ります!!



7月のフットワーク

市民クラブ会派による 行政視察報告

日程	視察先	視察テーマ
7月12日	福岡県 大野城市	『大野城市 心のふるさと館』について
7月13日	熊本市 ～益城町	『熊本地震 被災地の状況』について



【視察参加者】市民クラブ議員（6名）

中嶋 祥元 鈴木 浩二 山内 智彦 黒川 智明 佐原 充恭 伊藤 幸弘

大野城市の『心のふるさと館』について

【目的】大野城市は、市の歴史遺産を活かした施設として「心のふるさと館」を今年度から建設着手しようとしている。建設にあたっては、市民への理解浸透と市民交流を深めることをコンセプトに事業推進を図っており、現在 刈谷市が進める歴史博物館建設に参考となる点が多いことが期待できるため視察した。

【大野城 心のふるさと館 建設事業の概要】



- 市民への理解活動を重視し「ふるさとにぎわい課」を創設（基本計画策定時、市民アンケートやワークショップ開催）
- 市民への理解活動では、基本設計のイメージ動画を配信し、PR活動を充実をはかっている。
- 歴史・子ども・にぎわいをキーワードにした交流拠点施設。

・まちの賑わいづくりに繋がる施設機能を併せ持ち、市民参加の在り方および来館者をまちなかに向けるPRや商店街との連携を事業活動の展開を図る。

【所感】建設推進にあたり、市民への理解活動や広報が充実していた。また、商店街とも連携を図り、まちの賑わいに繋がる事業活動は参考にすべき視点と感じた。

『熊本地震 被災地の状況』について

【目的】4月14日発生した熊本地震から3ヶ月が経過。依然と5,000人弱の人々が避難所生活を送っている。実際の被災地の状況を観ることによって、今後の刈谷市の更なる地震対策の向上に繋げていくことを目的に視察する。

【被災地の状況】



益城町では古い木造住宅の全壊が目立った



電柱が傾き危険な状況



いたる所で擁壁の崩れが発生

職員が罹災証明のため被害状況を調査



【所感】巨大地震に備えた減災対策の施策目標達成に向けたフォローアップの強化が更に必要。また、地震発生後の避難所開設、救護・医療対応、罹災証明など、命や生活を守る体制や訓練等、一つ一つ対策の積上げを急がなければならない。

平成29年度当初予算編成に関する市民クラブ会派の要望を提出



住みたい、住み続けたい まちに
人口増加に繋がる施策を要望 !!



重点要望 3項目 41件
その他 個別要望 36件
(計 77件を要望)



7月26日(火)
市長に要望書を提出

重点要望項目	要望件数
(1) すべての産業の持続的成長を促す施策	
① 企業誘致、投資促進、人材育成など企業体質強化への応援施策の推進	2
② 近隣市を巻き込んだ効率的な生産活動ができる道路整備の推進	3
③ 革新的な新事業への展開	4
(2) 刈谷の資源を有効活用したまちの魅力づくり施策	
① 人とエリア、エリアとエリアを有機的に結合させる施策の推進	5
② 若者が集まり、住みたくなる街づくり施策の推進	8
③ 刈谷の資源が有効に発信されるPR戦略の強化	1
(3) 全世代が安心して暮らせる環境づくり施策	
① 産・学・官の力を活かした防災、防犯、交通安全への施策の推進	9
② 少子高齢化課題の明確化と計画的な対策の推進	7
③ 障がいを持つ市民が暮らしやすいしくみの確立	2
その他 個別要望	
都市環境分野(15件) 教育文化分野(2件)	
産業振興分野(2件) 福祉安全分野(15件) 計画推進分野(2件)	

★★★ 市政ピックアップ ★★★



刈谷市民の人口

15万人達成 !!

7月1日に達成しました。(市制施行から66年)

